

■労災隠し容疑、業者ら書類送検 大田原労働基準監督署は27日、労働安全衛生法違反(労災隠し)の疑いで矢板市荒井、太平建設と事実上の代表者の男性(64)、元請けの同市本町、浜屋組の当時部長だった男性(65)を書類送検した。2023年12月28日、同市片岡の土木工事現場で、太平建設の60代男性従業員がトラックの荷台から誤って転落し、あばら骨を折る休業4日以上の労災が発生したのに、労基署に遅滞なく報告しなかった疑い。